

作成日 2015/1/15

## 安全データシート(SDS)

## 1. 製品及び会社情報

製品名	K-Primer
会社名	株式会社川金コアテック
住所	茨城県結城市若宮8-43
電話番号	0296-21-2202
ファックス番号	0296-32-8088

## 2. 危険有害性の要約

## 【GHS分類】

物理化学的危険性	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	急性毒性(吸入:粉塵及び蒸気)	区分5
	皮膚腐食性/刺激性	区分3
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激	区分2A
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器系)、区分3(麻酔作用)
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分3
	水生環境有害性(慢性)	区分3

## 絵表示又はシンボル

注意喚起語  
危険有害性情報

危険  
引火性の高い液体及び蒸気  
吸入すると有害  
軽度の皮膚刺激  
重篤な眼刺激  
臓器の障害(呼吸器系)  
(麻酔作用)眠気又はめまいのおそれ  
水生生物に有害  
長期的影響により水生生物に影響

## 注意書き

## 【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。  
容器を密閉しておくこと。容器を接地すること、アースをとること。  
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。  
取扱後は手などをよく洗うこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
環境への放出を避けること。  
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

## 【応急措置】

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
皮膚に付着した場合: 多量の流水で洗うこと。汚染された衣服を脱ぐこと。  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
目の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。  
飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断、手当てを受けること。  
火災の場合には、火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火すること。

## 【保管】

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。  
施錠して保管すること。

**【廃棄】**

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

**3. 組成及び成分情報**

単一製品・混合物の区別 混合物質

成分名	含有量(%)	CAS No.	文書交付対象物質
酢酸エチル	98	141-78-6	○
非開示成分	2	-	-

非開示成分は、国連危険物分類5.1、酸化性物質に該当する有機塩素化合物

**4. 応急措置**

被災した場合は、応急措置後毛布などで保温して安静に保ち、速やかに医師の手当を受けること。  
**吸入した場合** 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。安静。呼吸停止または呼吸が弱い場合は、人工呼吸を行う。  
**皮膚に付着した場合** 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。多量の流水で洗うこと。  
**眼に入った場合** 清浄な流水で少なくとも15分間水で洗眼すること。洗眼の際、眼球とまぶたの隅々まで洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
**飲み込んだ場合** 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。吐かせない。

**5. 火災時の措置**

**消火剤** ・小火災：二酸化炭素、粉末、散水、耐アルコール性泡消火剤  
 ・大火災：散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤  
**使ってはならない消火剤** 棒状水  
**特有の危険有害性** 火災によって刺激性・毒性又は腐食性のガスを発生する恐れがあるので消火作業の際には、煙の吸入を避ける。  
**特有の消火方法** 引火性が高い。極めて燃え易い。熱・火花・火災で容易に発火する。消火作業は、風上から行う。周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。散水によって逆に火災が広がる恐れがある場合には、その他の適切な消火剤を使用すること。  
**消火を行う者の保護** 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

**6. 漏出時の措置**

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置** 作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。多量の場合、人を安全な場所に退避させる。必要に応じた換気を確保する。  
**環境に対する注意事項** 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。  
**封じ込め及び浄化の方法及び機材** 少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ、密閉可能な容器に回収する。多量の場合、盛り土で困って流出を防止し、安全な場所に導いてから密閉可能な容器に回収する。その後は少量の場合に準じる。付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。火花を発生しない安全な用具を使用する。

**7. 取扱い及び保管上の注意**

**取扱い**  
**技術的対策** 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。  
**安全取扱い注意事項** 使用前に取扱説明書を入力すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。

**接触回避  
衛生対策  
保管**

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。  
容器を接地すること、アースをとること。  
火花を発生させない工具を使用し、静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。  
妊娠中、授乳期中は接触を避けること。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
環境への放出を避けること。  
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
使用時は飲食又は喫煙をしないこと。使用後は手をよく洗うこと。  
強酸化剤  
取扱い後は手などをよく洗うこと。

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
涼しいところに置くこと。火気厳禁。施錠して保管すること。  
強酸化剤から離しておく。

**8. ばく露防止及び保護措置**

**管理濃度  
許容濃度**

200ppm  
日本産衛学会(2005年度) 400(ppm) 1400(mg/m<sup>3</sup>)  
ACGIH(2005年) TLV-TWA 400ppm

**設備対策**

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。  
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。  
容器を接地すること、アースをとること。  
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。

**保護具**

**呼吸用保護具**

必要に応じて、適切な呼吸用保護具を着用すること。

**手の保護具**

保護手袋、保護衣を着用すること。

**眼の保護具**

保護眼鏡、保護面を着用すること。

**皮膚及び身体の保護具**

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

**9. 物理的及び化学的性質**

特に断りのないのきは、酢酸エチルの性質を掲げる。

**物理的状态**

**外観**

無色透明な液体

**臭い**

芳香臭

**臭いのしきい(閾)値**

データなし。

**pH**

データなし。

**融点・凝固点**

-83℃

**沸点、初留点及び沸騰範囲**

77℃

**引火点**

-4℃

**蒸発速度**

データなし。

**燃焼性(固体、気体)**

該当しない。

**燃焼又は爆発範囲**

下限:2.2%、上限:11.5%

**蒸気圧**

75mmHg(20℃)

**蒸気密度**

3.04 (Air=1)

**比重(相対密度)**

0.900(20/20℃)

**溶解度**

水:80000mg/L

**n-オクタノール/水分分配係数**

log P = 0.73

**自然発火温度**

427℃

**分解温度**

データなし。

**粘度(粘性率)**

0.44mPa·s

アルコール、アセトン、クロロホルム、エーテル、ベンゼンに可溶

**10. 安定性及び反応性**

**反応性、化学的安定性**

加熱すると、激しく燃焼または爆発することがある。

**危険有害反応可能性**  
**避けるべき条件**  
**混触危険物質**  
**危険有害な分解生成物**

紫外線、酸、塩基の影響下で分解する。  
 非開示成分は、水に触れて次亜塩素酸を発生する。  
 強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。  
 非開示成分は、分解により有毒かつ爆発性のガスを発生する。  
 紫外線、高温、強酸化剤、還元剤、強酸、強アルカリとの接触を避ける。  
 紫外線、還元剤、強酸、強アルカリ、次亜塩素酸カルシウム  
 燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素  
 非開示成分の分解又は混触危険物質との反応により、塩素、塩化水素、一酸化炭素、三塩化窒素を発生する。

11. 有害性情報

**急性毒性**  
 経口 区分外  
 経皮 区分外  
 吸入:ガス 分類対象外  
 吸入:蒸気 区分5(酢酸エチル:区分外、非開示成分:区分5)  
 吸入:粉じん及びミスト データなし  
**皮膚腐食性及び刺激性** 区分3(酢酸エチル:区分外、非開示成分:区分2)  
**眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性** 区分2A(酢酸エチル:区分2B、非開示成分:区分2A)  
**呼吸器感受性** データなし  
**皮膚感受性** 区分外  
**生殖細胞変異原性** 区分外  
**発がん性** 酢酸エチル:分類できない、非開示成分:データなし  
**生殖毒性** データなし  
**特定標的臓器毒性(単回ばく露)** 区分1(酢酸エチル:区分1(呼吸器系)、区分3(麻酔作用)、非開示成分:分類できない)  
**特定標的臓器毒性(反復ばく露)** 分類できない  
**吸引性呼吸器有害性** 分類できない

12. 環境影響情報

**水生環境急性有害性** 区分3(酢酸エチル:区分外、非開示成分:区分1)  
**水生環境慢性有害性** 区分3(酢酸エチル:区分外、非開示成分:区分1)

13. 廃棄上の注意

**残余廃棄物** 廃棄においては関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。  
 廃棄物処理免許を持つ処理業者に委託して処理すること。  
**汚染容器及び包装** 汚染容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分すること。

14. 輸送上の注意

**国際規制** 海上輸送はIMOの規則に、航空輸送はICAO/IATAの規則に従う。  
**国連番号** 1173  
**国連品名** ETHYL ACETATE  
**国連危険有害性クラス** 3  
**副次危険** -  
**容器等級** II  
**海洋汚染物質** Not Applicable  
**国内規制**  
**海上規制情報** 船舶安全法の規定に従う。  
**航空規制情報** 航空法の規定に従う。  
**陸上規制情報** 消防法・毒劇法の規定に従う。  
**特別安全対策** 移送時にイエローカードの保持が必要。  
 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。  
 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。  
**緊急時応急措置指針番号** 129

15. 適用法令

**労働基準法** 疾病化学物質  
**労働安全衛生法** 第2種有機溶剤等

	危険物・引火性の物
	名称等を表示すべき危険物及び有害物
	名称等を通知すべき危険物及び有害物
	作業環境評価基準
<b>毒物及び劇物取締法</b>	酢酸エチルは劇物に該当するが、本製品は酢酸エチルを含有する製剤であり、劇物に該当しない。
<b>消防法</b>	第4類引火性液体、第一石油類非水溶性液体
<b>船舶安全法</b>	引火性液体類
<b>航空法</b>	引火性液体
<b>海洋汚染防止法</b>	有害液体物質(Z類物質)

## 16. その他の情報

### 参考文献

GHS対応ラベル表示作成指針(日本化学工業)  
 化学物質の表示、文書交付制度のあらまし(厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署)  
 表示(ラベル)とSDSに関する法令(中央労働災害防止協会)  
 安全データシート(日本芳香族工業会会員会社)  
 職場の安全サイト(厚生労働省)  
 原材料/製品メーカーMSDS

### 注意事項

- ・記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データによるものですが、含有量、物理的・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
- ・新しい地検や安全情報が判明した場合は予告なく変更する場合があります。
- ・記載された注意事項は通常的な取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合には、ご使用者の責任において、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。